

STEP UP!

磐田市立磐田中部小学校
第4学年 学年便り
令和4年2月15日

2月に入り、厳しい寒さが続いています。そして、コロナウイルスの拡大が心配されます。今後も、休み時間に換気をしたり、活動後の手洗いうがいをしたりと、感染予防に努めていきます。

さて、4年生も終わりに近づき、どんな活動をするにつけても「もう5年生になるのだから…」という声が聞かれるようになりました。4年生としての生活の基本を身に付け、学習のまとめを一層進めていきます。二分の一成人式に向けての学習では、学習したことをグループでまとめ、発表を動画で撮影しました。式をよりよいものにするために、今後も活動を続けていきます。家の方からの手紙も、今後読む機会を作ります。御協力ありがとうございました。4年生の学年目標「STEP UP!」の最終章を飾る行事として、気持ちを合わせて、今までの努力が実る会にします。

定着度調査について

1月11日（火）に行われた国語科と算数科の定着度調査は、全体指導をして、お子さんに返却をしました。全体を通しての傾向をお知らせしますので、今後の学習の参考にしてください。国・算とも、日頃の家庭学習や授業での復習、スキルへの取組の成果が表れていると感じました。繰り返し取り組み、漢字や計算の仕方を定着することが大切です。



《国語》

七の問題の正答率が低いという結果でした。動詞と形容詞の違いについて授業の中で指導し、設問の内容を正しくとらえるような練習も取り入れていきます。

文章問題十(5)の、文章をつなぐ接続詞を選択する問題の正答率も低い結果でした。接続詞の前後の文を読み、どのような関係の文がつながっているのか考えて接続詞を選択することを指導しました。また、接続詞の種類や使い方についての指導も行いました。教材文の中で接続詞が出てきた場合には、意味や使い方を今後も指導していきます。

三の漢字を書く問題(1)「ほうそう」の正答率も低い結果でした。3年生で学習した漢字を復習する機会を作っていきます。4年生のまとめの時期なので、4年生で習った漢字の復習も行っていきます。漢字の習得は個人差が大きいので、家庭学習での定期的な復習をおすすめします。

《算数》

九ひし形の作図の問題の正答率が低かったです。途中まで作図してあったので、そこに続けて平行四辺形を作図してしまった子がほとんどでした。基本的な描き方はできていたので、「全ての辺の長さが同じ」というひし形の定義を確認して作図し直しました。

十二の平行四辺形の一つの辺の長さを求める問題も正答率が低かったです。解き方が分からない子、答えは出せるけれど立式できない子、それぞれいました。「向かい合った辺の長さは同じ」という性質を利用し、立式することを指導しました。また、一つの式にまとめる場合、計算の順序が大切になるので、必要などころに()を使って立式することも指導しました。

残りの時間の中で、4年生の学習のまとめを行い、復習する機会を作っていきます。しかし、学習内容が増えたことにより、定着にかなりの個人差が出てきました。家庭学習での定期的な復習をおすすめします。